

# 災害に関する住民意識の変化について —災害ボランティアセンター活動を通じて—

○佐々木 美幸（久慈市社会福祉協議会） 岩手県社会福祉士会（39832）

## I. 研究目的

近年、大規模災害が毎年各地で発生しており、すべての大規模災害において災害ボランティアセンターが設置されおり、「防災基本計画」に、ボランティアの位置づけが明記され、災害時においてボランティア活動が円滑に行われるようになっている。当市では、東日本大震災、平成 28 年台風 10 号災害、令和元年台風 19 号災害と 3 回、被災住民の復旧・復興支援のため災害ボランティアセンターを設置運営した。

本研究では、3 度の災害により市民の災害ボランティア活動、また災害への関心がどのように変化したかを考察し、今後の災害ボランティアセンターの運営に役立てることを目的にしたい。

## II. 研究方法

3 度の災害ボランティアセンターでの市内と市外から受け入れたボランティアの活動状況を分析する。また、H 町内会組織の役員に、災害後の地域での取組や災害に対する意識の変化について、インタビューを実施し、さらに、当会で開催した災害ボランティア養成講座の参加者 17 名にアンケートを実施した。

## III. 倫理的配慮

公益社団法人日本社会福祉士会の事例を取り扱うガイドラインに基づき、個人が特定できるようなデータを公表しないように配慮した。

## IV. 結果

### 1. 3 度の災害ボランティアセンター活動状況について

	東日本大震災 (H23.3.11)	平成 28 年台風 10 号 (H28.8.30)	令和元年台風 19 号 (R1.10.12)
活動日数	30 日	42 日	29 日
受付ニーズ	—	400 件	132 件
住家被害数	568 棟	1,639 棟	772 棟
活動人数	1,454 名	3,642 人名	1,779 名
一般(市内)	—	—	168 名
一般(市内)/活動人数	—	—	9%
学生数(市内中・高校)	243 名	493 名	856 名
学生数/活動人数	17%	14%	48%

## 2. 町内会組織の災害後の取組について

台風災害を教訓に、地域住民が主体となって高齢者や障害者等の要援護者を住民が支えるしくみづくりに取り組んでいる H 町内会組織の役員に災害後の地域での取組や災害に対する意識の変化についてインタビューを実施した。H 地区は台風被害を免れたが、町内会組織として要援護者に対して迅速な避難誘導の仕組みづくりを求め、要援護者と支える住民を地図上に示し、日ごろの見守り活動や災害時の避難支援に活用する「支え合いマップ」の作成し、近隣の人々が助け合う「共助」の役割を果たす仕組みづくりをしていた。また、当市では、災害以降 4 地区で「支え合いマップ」を作成に取り組んだ。

## 3. 災害ボランティア養成講座について

コロナ禍における災害ボランティア活動においては、全国からのボランティア募集は感染予防の観点から困難である。そこで、今年度、有事の際に地元ボランティアが地元住民を支えることを目的に災害ボランティアの養成講座を実施した。参加者は市民 17 名で、3 回の講座で延べ 44 人であった。講座では災害ボランティアに必要な知識と技術の講義がなされ、参加者がボランティアリーダーとなってもらえるように意識付けを図りながら、展開されたが、講座終了後のアンケートでは、災害ボランティア活動でボランティアリーダーとして参加したいと答えた人は 3 名に留まり、今後更なる意識付けが必要であることが分かった。

## V. 考察

災害ボランティアセンターを設置するごとに、中学生・高校生の活動人数が増加している。学校において防災教育、福祉教育に取り組んでいることにより、学生の意識・教員の意識が高まっていると考える。また、全国で毎年大規模災害が起き、報道されることにより、被災者の境遇に共感しているのではないかと。また、町内会組織においては、有事の際に備えるための活動の一つとして支え合いマップの作成に取り組んでいた。

災害ボランティア養成講座では、地元ボランティアの養成とともに、地元住民が地元住民を支えるボランティアリーダーへの意識づくりの醸成が必要である。

## VI. 結論

災害は、いつ起きてもおかしくない時代であるからこそ、備えることが大事である。

学校での防災教育、福祉教育、町内会組織での日ごろからの見守り活動など、学生や一部町内会組織での災害への意識の高まりは明らかである。一方、一般市民の災害ボランティア活動への参加が少ないことは、つまり、関心が低いということである。災害が多い町であるからこそ、災害が起こってからの活動ではなく、日ごろからの近隣の人々が助け合う共助の醸成の広がり期待される。

## 引用・参考文献

久慈市災害ボランティアセンター(2019)「災害ボランティアセンター運営マニュアル」.  
久慈市社会福祉協議会「令和 2 年度災害ボランティア養成講座アンケート」.